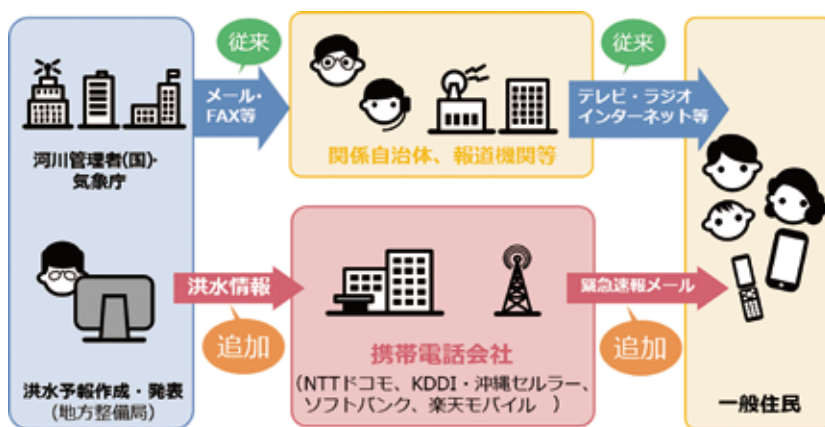


迅速な情報の収集・提供により、 水の猛威から暮らしを守ります。

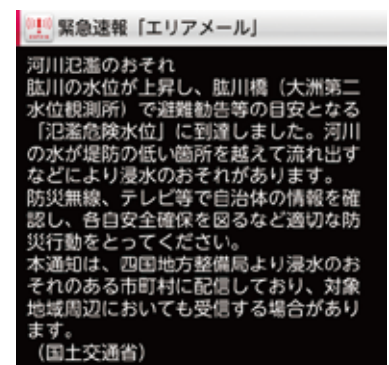
肱川流域では、平成30年7月豪雨をはじめ、頻繁に洪水が発生しています。被害を最小限に食い止めるために、迅速な情報の収集・提供を行うことにより、災害に対する安全度を高めます。

①洪水情報の提供

洪水時には松山地方気象台と共同で洪水予報の発令を行っています。また、平成28年9月から住民の主体的な避難を促進させるために緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。



洪水情報のプッシュ型配信イメージ



平成30年7月豪雨時の配信

住民自らの避難行動に結びつくようケーブルテレビの地域密着性という特性を活かして、洪水時の切迫した映像などをリアルタイムに届ける取り組みを始めました。また、肱川や大洲市に特化した防災情報を見やすくまとめたポータルサイトの運用を開始しました。



地域防災コラボチャンネル
(株式会社ケーブルネットワーク西瀬戸)



肱川 防災ポータル

②出水時の巡視、樋門等の操作

洪水時には巡視を行い、堤防等の異常を早期に発見し、迅速な水防活動が行えるよう努めます。また、水位等を的確に把握して適切に樋門等の操作を行います。

③水防活動の支援

堤防等の異常を発見した場合には、大洲市や水防団と連携して水防活動を行い、被害の軽減に努めます。



水防活動の状況